

議会だより

第192号

令和7年
5月発行

題字：比嘉 ^{み お り}美音莉さん
嘉手納小学校6年



～主な内容～

議会と住民との懇談会での意見・要望等に対する回答・・・P2～P3

令和7年度 一般会計当初予算156億274万円を全会一致で可決!・・・P4～P5

Q&A こんな質疑がありました・・・・・・・・・・・・・・P6

町政を問う! 14人の議員が一般質問・・・・・・・・・・・・P7～P21

題字紹介、職人・人物紹介・・・・・・・・・・・・・・P22

まちの職人・人物紹介 Vol.17

山口 栄秀さん

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索



町議会を傍聴しましょう! 定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

議会と住民との懇談会での 意見・要望等に対する回答

令和7年2月10日から25日までの日程で、6行政区において「議会と住民との懇談会」を開催しました。

今回の懇談会は約6年ぶりの開催となり、住民からは様々な意見や要望があり、活発な懇談会となりました。意見・要望に対する回答は行政等から聞き取り、とりまとめた報告書は各区自治会へ配布し、議会のホームページにも掲載します。

【西浜区】 2月10日

問 もっと福祉や保育の關係に力を入れてほしい。

答 制度的には福祉は非常に充実している。町単独事業もあり充実が図られていると考える。物価上昇等もあり、予算的には右肩上がりで増額傾向にある。

問 公共交通網整備について。コミュニティバスの導入を望む。

答 本町において新たな公共交通の必要性を示さなければならぬ。他市町村で実施しているコミュニティバス、デマンドタクシー、AIオンデマンド交通、乗り合いタクシーなどポリユーム感を精査したうえで考えてい

きたい。

問 ケンタッキー前の南向けバス停留所に屋根を設置してほしい。

答 バス停を管理している県バス協会及び道路管理者である南部国道事務所によると、屋根を設置するために必要な歩道の幅員確保が厳しい場所であると説明があったが、町として設置の要望書を提出していきたい。

【北区】 2月12日

問 北区コミュニティセンター中庭に人工芝を張るなど改良工事ができないか。

答 人工芝の設置については、どのような利用を予定し、どのよ

うな理由からその必要性があるのか、その頻度や、利用目的以外の利用者の有無はどうかなど、要望に係る状況等を伺ったうえで検討を行うべきだと考えている。



問 新町通りを歩行者天国にして。イベントがある際、雨天時以外は中小学校のグラウンドを駐車場として開放してほしい。

答 各小中学校の校長へ相談のうえ、利用許可を得ることになっている。役場前駐車場も各所管課へ相談のうえ許可を得ることになっているため、イベント主

催者側で調整を行って頂いている。

【西区】 2月17日

問 敬老祝金の増額について。

答 敬老祝金については廃止方向の市町村も増えており、実施していない市町村もある。老人福祉費の予算に占める敬老祝金の割合は大きいので、増額は考えていない。

問 自治会加入者の減少について。転入手続きの際、役場窓口で自治会加入を促してほしい。

答 令和7年度、自治会長会においてチラシ作成を検討中と聞く。チラシ等ができあがれば窓口置き、転入手続きに來られた方に配布したい。

問 物価高に対し、コロナ禍の際に配布していた商品券を同様に配布してほしい。

答 現時点において実施は考えていない。今後の社会情勢を注視していく。

問 台湾有事の際、町民を守るためにシエルターの検討ができるか。

答 町において町民保護計画を策定中。シエルトーについては公共施設の地下に作ることは施設の設置条件などにより困難である。

【東区】 2月18日

問 町民の家をリニューアルしてほしい。

答 令和6年度から基本構想の業務発注し、建て替えの方向で令和11年度の供用開始を目標に進めている段階である。

問 防衛買い上げ用地の制度の範囲内での活用が図れないか。本町の人口減少と若者の定住促進を望む。

答 現制度においては、嘉手納町に特化した当該地の活用・運用は難しいものと考ええる。

問 屋良東部公園計画。道の駅と連携した公園にしてほしい。

答 ローション嘉手納屋良店裏の防衛省買上げ用地に新たな公園を整備する計画を進めている。

【中央区】 2月20日

問 子どもたちの下校時間にパト

ロールを強化してほしい。不審者情報が入った時には不安。

答 不審者が発生した場合、教育委員会に通報があれば各学校に情報を発信している。同時に青少年センターにもパトロールを依頼している。自治会が行っている地域の見守り活動とも連携していければ良いと思う。

問 兼久海浜公園グラウンドの早急な整備を。野國総管まつりの際はひどかった。

答 令和7年度のまつり開催時まで、兼久海浜公園総合運動場の改良工事を行う。



問 空き家の解体を考えているが、手元にお金が無くどうしようもない。お金が無い方が解体する方法はないか。

答 町内の管理不全な状態となった老朽危険空き家の解体、撤去及び処分に関して経済的な理由により解体等が困難な者に対し、支援することを目的に「老朽危険空き家解体撤去等支援事業規則」を制定している。

問 基地からのライトがまぶしい。どうかしてほしい。

答 沖縄防衛局に確認したところ、(米軍において)照明の使用等について県内外の専門家にも照会して対策について協議しているとのことである。

【南区】 2月25日

問 保育所に入れない「待機児童問題」、一時保育を利用したいが予約が取れない状況を改善してほしい。

答 令和7年2月末の待機児童数は6名だが、令和6年4月時点では定員数に対して約半数の空きがある状態だった。年度途中の待機児童に対する対応策について検討している。

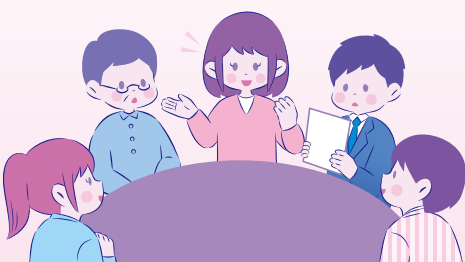
さんさん保育所において実施している一時保育は利用人数が多く、電子申請も始めたが予約が取りにくい状況なので、改善に向けて検討中。

問 有害ごみの収集を週1回から月1回へ。ペットボトルやビン は毎週回収してほしい。

答 一般廃棄物減量等推進審議会において調査研究していく。

問 自治会軽トラの早期交代を。

答 当初、軽トラ6台を一齐に買い替えると多額の支出となり財政的に厳しいため、令和6年度は2台(東区・西浜区)を買い替えた。令和7年度から1年に2台ずつ(2自治会)買い替えていく方針。買い替え自治会は、エンジンの調子や錆の状態などを勘案しながら調整する。



億274万円を全会一致で可決！

令和7年度当初予算 (1万円未満切り捨て)

会 計 名		令和7年度	令和6年度	比 較
一 般 会 計		156億274万円	154億3889万円	1億6384万円増
特別会計	国民健康保険	19億1919万円	20億998万円	9079万円減
	後期高齢者医療	3億4167万円	3億3050万円	1117万円増
下水道事業	収 益 の 収 入	3億3715万円	3億4449万円	734万円減
	収 益 の 支 出	3億3486万円	3億4422万円	936万円減
水道事業	収 益 の 収 入	3億8433万円	3億8753万円	320万円減
	収 益 の 支 出	4億1015万円	3億7697万円	3318万円増

第3回嘉手納町議会定例会（令和7年3月）が3月4日から3月27日までの日程で開催した。本定例会では、令和7年度当初予算を中心に議案19件・発議2件・報告1件・同意2件・諮問1件を、それぞれ原案の通り可決した。

令和6年度補正予算で可決

兼久海浜公園総合運動場改良工事（9570万円）

兼久海浜公園のグラウンドの水はけを改善するため、整備を行う。



	件名	議決結果
議案第70号	嘉手納町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第72号	嘉手納町廃棄物の減量及び適正な処理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議第22号	専決処分事項の指定についての全部改正について	原案可決
同意第2号	嘉手納町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	多和田和美氏を選任 同意
同意第3号	嘉手納町監査委員の選任について	屋比久昭氏を選任同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	知念榮氏を答申

令和7年度

一般会計当初予算156

令和7年度一般会計予算で可決

●空き家対策事業（790万円）

町内の空き家の現状を調査し、計画策定を行う。

●甘藷伝来420年関連事業（409万円）

野國總管の遺徳を称え、式典や基調講演、フォーラムを行う。

●町政施行50周年記念事業（855万円）

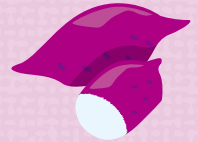
令和8年2月に記念式典及び祝賀会の開催を行う。

●学校ICT機器整備事業（1億878万円）

小中学校の児童生徒が使用する学習用タブレットの更新を行う。

●带状疱疹ワクチン予防接種事業

令和7年度から带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を行う。



Q & A こんな質問がありました



Q マイナンバーの取得率と活用は。
A 令和7月2月末時点で76%。各種証明書等のコンビニ交付で活用されている。

Q 病児・病後児保育事業とは。
A 新規事業で、当該事業を読谷村と北谷町で協働し、アイビス嘉手納保育園にて実施する。1日に8名の預かり体制。



Q 財政調整基金の取崩しは。
A 2600万円を20%のプレミアム付き商品券事業へ充当。

Q 自治会の車両購入は。
A 令和7年度は2台を予定。

Q 地域優良賃貸住宅整備事業とは。
A 中央区は、高齢化と少子化が町内で一番高い。民間のPFIを活用し子育て世帯を中心とした住宅建設を進める。

Q 要支援家庭寄り添い支援事業の変更点は。

A 回数を週2回か3回へ増やす。

Q 嘉手納町地区学習等供用施設の改修工事について。
A 放課後の子ども達の居場所づくりは、近隣のコミュニティセンターの活用を考える。

Q 民生委員数は。
A 定数が28名に対し、20名となっている。

Q ふく体操の今後は。
A 月1回、巡回しフロアアップを行い、アドバイスの実施を考え中。

Q 町のPFASに対する取組は。
A 令和5年度に実証実験を行った。今後関係機関と活動を行う。

Q 資源ごみ回収事業とは。
A 町に登録された団体が、ごみを回収した際、1kgあたり10円の報奨金を支払う事業。

Q 母子手帳アプリとは。
A 新規事業で子育て支援のツール。情報配信サービス、質問票サービス、予約サービスの3つをアプリで操作可能。

Q 嘉手納町特産品開発事業とは。
A パイナップルを育てる技術を農家へ指導し、3年後には出荷できるよう育成。

Q マルチメディアセンターの修繕は。
A トイレ、スタジオ機材、エレベーターの3カ所を修繕する。

Q 観光プロモーションツール制作業務とは。
A 町の魅力を発信する動画やガイドブックを作成する。

Q 空き家対策事業とは。
A 町内で108件の空き家がある。空き家の発生の予防や適切な管理の促進、情報の提供のため、対策の計画を策定する。

Q 嘉手納野球場オープニングセレモニーは、なぜ平日なのか。
A 子ども達が春休み期間中に開催したい。



Q 歴史マンガ製作業務とは。
A 野国總管の420周年を記念し、偉業を伝える学習マンガを製作する。

Q 学習支援員は何名か。
A 両小学校と中学校に3名。計9名の配置。

Q はいさい！いちやれば祭事業は。
A 生涯学習のフェスティバルで今年度は11月2日を予定している。

Q かでなっ子ハローワーク事業は。
A 町内企業等で子ども達が職場体験する。今年度も実施する。

Q 教育指導課の過重業務は。
A 2年間かけて平準化した。

Q パークゴルフ場の協定状況は。
A 読谷村と北谷町のパークゴルフ場を安い料金で利用できるよう協定を締結している。

Q 町STEAM教育推進事業とは。
A ドローンを使った技術等を学び、プログラミングの技術を習得。

町政を問う

題字：新垣 貴人 副議長

14人の議員が一般質問

(質問順)

伊 敷 猛……………P 8

小中学生における学校教材費について

志喜屋 孝 也……………P 9

議会と住民との懇談会より兼久海浜公園全般と
リニューアルを問う

福 地 義 広……………P 1 0

議会と住民との懇談会で出された
基地に関する苦情、課題等について

安 森 盛 雄……………P 1 1

家賃補助を問う

照 屋 唯和男……………P 1 2

子育て支援事業の助成金の平等性は

知 花 賢 幸……………P 1 3

介護支援サービスにおける情報の
周知拡大、記載書類の簡素化について

仲 村 龍 也……………P 1 4

ゆとりある保育の独自制度を

奥 間 常 明……………P 1 5

西浜区域に住宅用地の確保を

仲村渠 兼 栄……………P 1 6

子ども議会の開催を

新 垣 貴 人……………P 1 7

公共交通網整備について

嵩 原 妙 子……………P 1 8

「道の駅かでな」について

田 崎 博 美……………P 1 9

産前・産後サポート事業

當 山 均……………P 2 0

保育所・学童クラブにおける完全なる
「待機児童ゼロ」に向けて

宇榮原 京 一……………P 2 1

児童生徒の不登校問題を問う





伊敷 猛

詳しくは動画を Check →



小中学生における

学校教材費について

問 子供たちへの教材費を保護者へ補助するだけでは無く、今後は環境問題や町財政の観点から、直接口を含むものは除き、学校の備品化に出来ないか。また、令和7年度、個人に対する支給額と総額は。

教育指導課長 学校の管理は教員の負担になるので難しいと考えるが、環境問題、持続可能な開発目標SDGsの観点から、取組については関係課と検討したい。教材費の支給額は、小学生1年生1万7千円、2年生から6年生は1万1千円、中学生は1万8千円の支給。

総額は小学生に688万5千円増額で1176万5千円。中学生に215万4千円増額の553万8千円となっている。

問 他県では備品化について取り組んでいる事例もある。町長と教育長が協議していただきたいと考えるが、どうか。

教育長 学校と連携し、保護者との話し合いが必要。必要ならば、町長部局との連携も取っていききたい。他県のやり方も参考にしたい。

県外や離島への

派遣費について

問 嘉手納町や沖縄県を代表して、離島や県外へ派遣するときの派遣費の在り方について地域移行等もあり、変えなければならぬと思う。また小中学生において補助の観点から保護者若干名の派遣費も要望したい。

教育指導課長 小中学生の派遣費見直しの予定は無いが、地域移行、地域展開に伴う規定の見直し等は必要になってくると考えているので検討させていただきたい。大会要綱に定められた人数を補助の対象としており、対象外に補助金を出すことはそぐわない。

道の駅かでなについて

問 「道の駅かでな」がリニューアルオープンして3年が経ち、観光客だけでは無く、多くの町民に喜ばれ利用されている一方、新たに参入した飲食を提供しているテナントの皆さんと、指定管理を請け負っている観光協会の間で、キッチンカーについて問題が持ち上がったっているが、何故キッチンカーを置くのか。

産業環境課長 キッチンカーを誘致する理由として、「道の駅かでな」の賑わい創出や来場者の満足度向上、来場者数の増加を目指しているため。

問 テナント会からキッチンカーに関する要望書が4回、テナント会でも度々議題に取りあげられている、どう思うか。

産業環境課長 テナントの皆さんと指定管理者と役場が入り、話し合いの場を設ける。

問 キッチンカーが無い週、有る週のテスト期間を設けられるか。

産業環境課長 キッチンカー有り・無しの検証やフード等、観光協会と相談する。

問 沖縄県の道の駅において、私個人で道の駅を確認したところ、キッチンカーは無い状況だが確認したか。他の観光協会は道の駅テナントへ配慮して、キッチンカーを置かないのこのと、嘉手納町はテナントの皆さんを最大限に配慮してキッチンカーについて考えていただきたい。





志喜屋 孝也

詳しくは動画を Check →



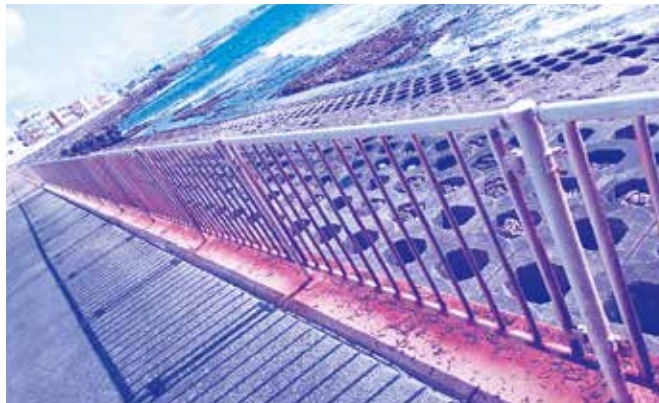
議会と住民との懇談会より
兼久海浜公園全般と
リニューアルを問う

問 グランドの周りも歩きやすくするためにソフトアンツーカー（ゴム）の設置と予定を問う。



ソフトアンツーカーの設置を

ニスコート外周を回る400m、弾性（だんせい）舗装幅員2m。
問 堤防沿いの新しい手すりが必要です。今後の台風対策を。



堤防のサビの現状

設け、ウォーキング・ランニングマシンやコードレスバイク、周波数体組成計、ストレッチマット及び、上半身や下半身を鍛える健康器具の設置を予定。

問 公園利用者に向けて、リニューアル事業の住民説明会を開催する看板設置はいかがか。

都市建設課長 住民説明会の案内看板の公園設置は、周知が遅れた。今後このようなことがないように対応する。

問 ミストシャワーの設置の考えは。

都市建設課長 ミスト発生装置の衛生管理について、管理不十分な装置からレジオネラ肺炎などを起こす危険性があり、常設設置は見送る。

議会と住民との懇談会より

問 新町通りを歩行者天国にするイベントがある際に、小中学校のグラウンドを雨天時以外は駐車場として開放してほしい。役場前駐車場や新町駐車場などの満車による駐車場問題は、有料にするなど、海邦銀行駐車場の方法が理想。また、立体駐車場の建設の考えは。

産業環境課長 各小中学校の校長に相談の上、利用許可を得る。また、役場前駐車場や新町駐車場なども各所管課に相談の上、許可を得る。イベント主催者で調整を行う。立体駐車場の建設は、庁舎内関係課で構成駐車場運営会議の中で検討する。

問 有害ごみの収集を週1回から月1回に、ペットボトルやビン等は隔週ではなく、毎週収集してほしい。

産業環境課長 一般廃棄物減量等推進審議会場の場において調査研究する。

問 道路の白線、センターラインなどが消えている。対向車線への車両のはみ出しも多い。町内の点検などをお願いしたい（漁港の三差路、新町通りから港通りへの三差路）。

都市建設課長 漁港付近の三差路の白線引き直しは発注済み。新町通りから港通りへの三差路は交差点内への指導線を表示するなど、現在自治会とどの白線が良いか協議中。

都市建設課長 ウォーキング3コースは、公園全体の外周を回るコース1130m、総合運動場と多目的広場外周回る960m、テ

問 体育館に、運動できる健康器具も置いてほしい。
社会教育課長 トレーニング室を

次のページも

町に考えを聞く!! 一般質問

福地義広・安森盛雄



福地 義広

詳しくは動画を Check →



議会と住民との懇談会で
出された基地に関する苦情、
課題等について



問 再三要請しても解決しない
爆音やパラシュート降下訓練、
防錆整備格納庫建設問題等につ
いて、直接基地司令官に訴える
とか町民大会を開催して抗議の
意思を示すべきではとの声があ
がっている、如何か。

基地渉外課長 基地から発生する
諸問題については、沖縄市及び

北谷町と共有できる課題につ
ては三連協で、その他の個別の
事案については本町独自で関係
機関に対し事案発生の都度、抗
議や要請を行ってきた。本町が
求める基地負担の大幅な軽減に
逆行する運用については、今
後もその是正を求めている。

問 「台湾有事」を想定した先島
住民の疎開計画や、南西諸島へ
の軍備増強により、嘉手納基地
が攻撃されるのではないかとの
懸念が示された。シェルター建
設に言及する声も上がった。こ
の状況を町はどのように捉え、
対応するのか伺う。

総務課長 「台湾有事」の際に、嘉
手納基地や普天間基地が攻撃対
象になり得るという論評等がな
されていることは承知してい
る。米軍基地の存在が有事の際

の危険性をはらむものであると
いうことに異論はない。しか
し、現状として直ちに危機的状
況へ陥るといふような状態、例
えば、我が国あるいは本町周辺
に対する攻撃の予兆が察知され
るなど、差し迫った危機的状況
ではないと判断している。いた
ずらに危機感を煽るような行動
は避けるべきであり、国や県と

連携し、情報収集に努め、慎重
に行動する必要があると考え
る。その一方で、万が一の事態
に備えることも必要である。来
年度予定している国民保護計画
の改定もその一環。今後も、国
及び県と連携し、情報収集に努
め、町民の皆様に必要な情報
を正確に伝えることができるよ
う、防災システムや組織的対応
のための運用改善に取り組んで
いきたいと考えている。

また、地下シェルター建設に
ついては、特定の用途や利用人
数が想定されている公共施設に
別途付随する施設として建設す
ることは、当該公共施設の利用
に係る条件とシェルターとして
の利用条件との整合の面などか
ら困難である。

問 人口減少対策として基地の一
部返還等により土地を確保し、
住宅建設を進めるべきではとの
意見も出された。この問題提起
についてどう考えるか。

企画財政課長 まちづくりを進め
ていく上で必要な土地について
は、地権者の合意形成を図りな
がら軍用地の返還や共同使用を
求めている必要がある。

しかし、嘉手納基地は現在返

還のめどが全く立っておらず、
返還や共同使用の実現を難しく
している。これからの米軍用地
返還の見通しなどを踏まえ、必
要となった場合に検討していく。

嘉手納飛行場第18航空団に
よる騒音軽減のための取組
(2024・11・1エバンス
司令官説明)について

問 今回の説明の経緯について伺
う。

町長 町が第18航空団に要請す
るときには任務支援群の司令官
(状況によっては副司令官)が
対応する。ただその要請事項に
ついては、当然トップまで行っ
ていると認識している。そのこ
ともあって今回司令官自らが取
組についての説明を行ったと思
う。

問 説明の内容で騒音は軽減され
ているのか。

基地渉外課長 騒音の発生回数は、
今年度は前年度に比べ減ってい
る状況があり、騒音回数は減っ
ている。ただ、機種によって最
高値が100デシベルを記録し
ている状況もあり、まだまだ予
防が必要であると感じている。



安森 盛雄

詳しくは動画を Check →



家賃補助を問う

問 昨年も家賃補助について質問し検討すると答弁があったが、その後どうなったか伺う。

企画財政課長 近年の物価高騰の影響から沖縄県内の家賃は上昇傾向にある。新築物件の賃料上昇は著しく、人手不足や資材価格の高騰により賃貸物件の賃料は、直近の3年間で13・2%程度上昇している。近年では2LDKから3LDKの物件で10万円を超えている。

議員提案の家賃補助については、先進地の取り組み内容等を調査し、研究しているところ。本町も人口増加につながる子育て世帯の定住化に向けて、より効果のある施策実施に向けて調査研究をさせて頂きたい。

問 近所の物価高騰により、スポーツ施設資源を活かしプロス

ポーツチーム合宿の誘致やスポーツ大会の誘致など、スポーツを通じた新たなまちづくり戦略を構築する必要があると考えている。今後は調査及び分析を行う。

問 最近、県外へ視察に行かれたと聞くが、視察の目的と内容を伺う。

企画財政課長 今後の野球場リニューアル後について、DEN Aベイスターズ球団としての考え方を確認し、意見交換した。



問 スポーツツーリズムを推奨して頂く上で「町民の家」の建て替えも計画の中に入れていくことができないか伺う。

企画財政課長 町民の家のような形態の宿泊施設が必要なのか、担当課である社会教育課と調整したいと考える。

放課後講座を問う

問 中学校3年生を対象にした放課後講座を実施されていないがその理由は。

教育指導課長 無料講座というところもあり多数の生徒より受講申請があった。しかし、受講欠席が多かった。また、町内で受験生を対象としている塾経営者より、塾経営が厳しくなったという声を頂き令和5年度より実施していない。

問 今後再開はできないか伺う。

教育指導課長 令和6年10月から令和7年2月まで、基礎学力の向上を図るため学習支援員教室を設置し、中学校3年生を対象に週2回、午前2時間、放課後1時間、空き教室を活用して実施。また、リーディングDX指定校を受け事業を推進しており、タブレット端末を活用した事業を進めている。その中でAIを活用した学習ドリル「キュービナ」を導入し、生徒一人ひとりの理解度に合わせて問題の難易度や主体順序を調整、つまづきを早期に発見し、必要なサポートを提供するAIDドリルを活用する学習を進めている。以

上のことから塾の講座は考えていない。

青少年センターを問う

問 青少年センターの今後の方針について伺う。

教育指導課主幹 センターには3つの業務があるが令和7年度より健全育成業務を社会教育課に移管する。残りの2つの業務は、これまでと同じように教育指導課が所管する。センターは今後も、青少年の教育相談を通じた適切な支援と、不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援に重点的に取り組むと同時に、学校や警察、地域社会との連携による青少年の健全育成と問題行動の未然防止にも取り組んでいく。

問 センター長の後任は決まっているのか伺う。

教育指導課主幹 まだ承認は得ていない。

問 こういう状況の中、誰が指示系統を担っていくか。

教育長 しばらくの間、主幹の方でセンター長兼任で運営する。



照屋 唯和男

詳しくは動画を Check →



子育て支援事業の 助成金の平等性は

問 教材費に係る助成について、町外、私立に通う子どもたちも対象として平等に助成されているか。

教育指導課長 現在、町外又は私立等に通う児童生徒を対象としての助成はされていない。

問 同じ町民で、納税している方の子どもたちが、町外に行っているからということで、別格に差をつけられているのはおかしいのではないか、町外に行っている子どもたちも対象にできないか。

教育指導課長 現在はやっていないが、支給できるように現在の対象者との均衡を考慮しながら、助成に向けて前向きに検討していきたい。

問 入学祝金や給食費等、私立等に通う児童生徒への助成は町民として公平に対処しているか。

子ども家庭課長 町内外、公立私立を問わず給付を実施。保育所や私立幼稚園等に入所する3歳児以上の給食費に対する補助事業も、町外の保育所や私立幼稚園に通う児童の対象となる。認可外保育施設は、県による給食費に対する補助メニューがあることから対象外。

教育指導課長 町外の私立等の学校に通う児童生徒に対し、給食費、教材費等の助成について、現在支給に向けて整備を進めている。

令和7年度の補正予算で対応したいと考えている。

小児科開設支援事業の 補助金創設を

補助金創設を

問 住民が安心して子育てできる環境を整え、人口増と子育てを支援する環境整備の一環として、小児科開設を支援する補助金の創設をできないか。

町民保険課長 子育て支援になるかと考えるが、医師の確保、医師の偏在、嘉手納町の実情等か

ら考え、現在の小児科開設を支援する補助金の創設は考えていない。

問 周辺整備調整交付金の中には医療施設の補助もあったと思う。それを基にして、取組がでないか。

企画財政課長 特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用可能なメニューを検討してみたが、活用できるようなメニューは確認できなかった。

屋良東部環境整備計画を

問 来場者の増加が見込める嘉手納野球場の整備に伴い、道の駅を拠点とした商業の活性化のための整備を求めたところ、今後、スポーツツーリズムという形の事業により、何かしらの誘致を含め検討すると言われているが、どのような状況を想定しているか。

産業環境課長 令和7年度はプロスポーツチームの誘致活動及びスポーツツーリズム推進協議会の設立に向け、関係団体の意識醸成を目的とした勉強会の開催を予定。今後は、プロスポーツを含めたスポーツチームのキャ

ンプや合宿、大会の誘致などが行えた際は例えば、そのチームの宿泊場所とかのホテルの誘致や、プロスポーツチームと連携した特産品の開発などが考えられる。

現時点においては、駐車場の不足や周辺道路の混雑対策などは検討していないが、今後の状況を注視しながら、必要により周辺インフラの状況の改善について検討したい。

問 イベント等を開催した場合、多くの来場者が訪れることになるので、駐車場計画、道路の渋滞防止等も並行して計画するべきでは。

都市建設課長 状況等を見ながら必要に応じて検討していく必要があると思う。





知花 賢幸

詳しくは動画を Check →



**介護支援サービスにおける
情報の周知拡大、記載書類の
簡素化について**

問 支援サービス利用等の情報が
当事者本人に届いていない状況
についての対応等は、現在どの
ように行っているか。提出書類
等について、可能な限り簡素化
し利用しやすい支援サービスを
受けることは検討できないか。
また、支援状況とそのため
の支援金制度は、嘉手納町民に周知
拡大されているか、伺う。

福祉課長 介護保険サービスな
どの情報が届いていない場合の
対応については、各区自治会、
民生委員、社会福祉協議会など
地域からの情報提供により、地
域包括支援センターや福祉課窓
口において相談体制を整えてい
る。また、沖縄県介護保険広域
連合や町のホームページ、広報

紙で周知している。

**嘉手納町民における
米軍基地への雇用促進に
ついて**

問 嘉手納町民の人口減少対策に
つながる取り組みとして、嘉手
納町民における雇用促進を図る
ことが必要と考える。沖縄県の
日本人基地従業員は9023名
で推移しており、その中で嘉手
納町は215人と基地負担をし
ている割には、嘉手納町は極端
に少ないといえる。米空軍施設
に日本人従業員として従事する
嘉手納町民は何人いるのか。嘉
手納町民に対し、求人募集等の
情報開示の拡充を図ることがで
きないか、伺う。

産業環境課長 米空軍施設に日本
人従業員として従事する嘉手納
町民の人数は、令和6年3月末
時点において米空軍施設で働く
人数が3076名、うち92名が
嘉手納町在住。求人募集等の情
報開示については、ホームペー
ジへの掲載、パンフレットを担
当課窓口やエントランスホールに
設置している。さらなる周知方
法については慎重に検討してい

きたい。

問 嘉手納町として米空軍施設へ
の町民の雇用に関する対策を構
築することについて町長の見解
を伺う。

町長 嘉手納町民の雇用について
対策を講じる必要がないのかと
いうことでどれだけの町民の方
が基地内に仕事を求めているの
かということも含めて、いろい
ろと調査・研究をする。そうし
たことも踏まえて、米空軍施設
への町民の雇用に関する対応を
講じることが可能なかどうか
も含めて、総合的に判断するこ
とについて引き続き検討してい
く。また、どういったことがで
きるのかということも考えてい
きたい。



**嘉手納町における文化の
継承、発展に関する
イベント等の開催に
ついて**

問 どんな取り組みがあるのか。
イベント等の年間活動計画を示
すものがあるのか、伺う。

中央公民館長 町史文化財係で
は、本町の歴史と文化に関する
展示会やイベント、講座を実
施。社会教育課社会教育係で
は、重要無形文化財である組踊
りに関するイベント、放課後子
ども教室において三線などの芸
能教室、生涯学習フェスティバ
ル「はいさい！ いちゃりば祭」
を実施している。

外語塾では授業の中で琉球舞
踊の取得、嘉手納町と琉球の歴
史についての学習を行っている。
町史文化財係が実施してい
る6月の沖縄戦に関連するパネ
ル展や、11月の文化の日のパネ
ル展等については、年間計画が
ある。その他のイベント等につ
いては調整の上、確定次第速や
かに周知していく。



仲村 龍也

詳しくは動画を Check →



ゆとりある保育の独自制度を

問 保育環境について、保育の拡大と待機児童ゼロ、そして、保育士の処遇改善のためにも保育士の配置増が必要だと考える。

0歳、1歳、2歳の人口と町内の保育受け入れ可能数を伺う。

子ども家庭課長 令和7年2月末現在の人口は、0歳が113名、1歳が99名、2歳が121名。令和7年4月1日時点の町内の利用定員数は0歳児が52名、1歳児が79名2歳児が107名。

問 受け入れ可能数の拡大、保育士の配置増、保育所での一時保育の拡大、子育て支援センターで託児所機能を図れないか伺う。

子ども家庭課長 定員数を増やすべきか、またはその他の保育サービスによって可能な限り対応

応できるような体制を拡充するか慎重に検討。民間の保育所については、入所人数によって運営費の給付額が決定されるため、定員数を満たしていない場合、保育士の運営が厳しくなり逆に、待機児童問題が深刻化する可能性がある。子育て支援センターの機能拡充は一時保育事業と、その他新たな制度を活用できないか併せて検討。



子育てしやすいまちづくり

問 保育料について、令和6年度の第2子無償化対象者数を伺う。

子ども家庭課長 第2子無償化事業の対象者数は令和7年3月1日現在、70名。

問 第2子保育料無償化事業の予算を伺う。

子ども家庭課長 866万7千円。

問 第1子を保育料無償化した場合の予算を伺う。

子ども家庭課長 2569万7千円。

問 第1子目の保育料を3分の1でも補助するとより多くの子育て世帯の負担軽減につながると考えるが、当局の見解を伺う。

子ども家庭課長 継続した支援となるよう財源の見直しなど、慎重な検討が求められる。

問 副食費について、共働き世帯では認可保育施設では保育料が高くなり、認可外保育施設を選ばざるを得ないことがある。施設形態を問わず公平な住民サービスを求める。未就学児全てを対象とし、認可外施設でも副食費を無償化にすべきと考えるが、副食費無償化の対象を伺う。

子ども家庭課長 公立保育所が70名で378万円の収入減、私立保育所は121名、給食費補助金として合計861万円を令和7年度当初予算へ計上。

入学準備金貸与について

問 嘉手納町人材育成会の入学準備金貸与の概要を伺う。

社会教育課長 学校教育法に定める大学又は専修学校に入学予定の者に対し、30万円を一括貸与している。

問 対象を幼児まで拡大して保育施設の入所入園の際に活用できないか伺う。

社会教育課長 保育施設及び入園児については教育委員会の所轄事項ではないためお答えできない。

問 入学祝い金などを幼稚園、保育所の入学のタイミングで支給できないか伺う。

子ども家庭課長 皆さんが保育施設を利用するということでもないので、公平性から入学祝い金としては難しい。





奥間 常明

詳しくは動画を Check →



西浜区域に住宅用地の確保を

問 嘉手納町は戦前まで、広大で肥沃な土地に恵まれていたが、戦後、米軍基地建設によりそこから追いやられ狭隘な土地での生活を余儀なくされた。その当時は戦後の混乱期とあいまって、今となつては貴重な住宅街に墳墓建設が進み町内に点在している。

今後の嘉手納町の人口増と発展を鑑みると、第5次嘉手納町総合計画後期基本計画にも示されている「市街地に墳墓が点在、あるいは集積して存在することから、適正な土地利用の集積及び誘導が必要」、また、第2次嘉手納町土地利用基本計画においても「まとまった墓地については整理を検討する。住宅地内に点在する墓地については移転集約を検討する」とある

が、見解を伺う。

企画財政課長 市街地内に点在する墓地については移転集約を行う必要があると認識している。更新される予定の「嘉手納町墓地整備基本計画」の方針に沿って行われると考える。

問 荒蕪地化して、荒廃している久得平山の有効活用として、久得霊園の拡張を提案する。

産業環境課長 現時点では、考えていないが、来年度に策定する「嘉手納町墓地整備基本計画」で検討していきたい。

嘉手納町のオンリーワン事業
嘉手納外語塾について

問 外語塾のさらなる充実と事業継続を望む観点から次の点について伺う。

(1) スタッフの待遇について見直す時期にきているのでは。

(2) 塾生の奨学金増額。

(3) 外語塾と沖縄防衛局の職場体験交流促進を図れないか。

(4) 外語塾専用車両購入を。

社会教育課長 (1)有能な講師を確保するため、適正な報酬額を物価動向等を注視しながら慎重に模索していきたい。(2)現段階で

は奨学金の増額は慎重な判断が必要。(3)現状での実施は困難。なお、沖縄防衛局への確認は必要であるが、交流促進は可能であると考える。(4)現在のところ支障が無く、専用車両は検討していない。

選挙投票所増設について

問 今回の議会議員選挙投票率が58・11%、前回より約7%も下回った。

いろいろな要因があると考えるが、期日前投票所を各區自治会事務所6箇所に増やしてはどうか。

総務課長 投票管理を町の基幹システムを使用しているためセキュリティ対策上庁舎外への持ち出しが出来ない。選挙人名簿自体の管理に課題がある。人員確保や安全管理が難しい等の理由により増設は考えてない。

問 議会議員選挙二投票区それぞれの各年齢層投票率は。

総務課長 年代別投票率、80歳以上52・42%、70代74・66%、60代71・17%、50代60・79%、40代54・40%、30代49・38%、20代38・87%、10代38・15%

嘉手納町議会議員選挙(令和7年1月19日)投票区・年齢層別投票率一覧表

年齢層	第一投票区（東区・中央区）			第二投票区（北区・南区）			第三投票区（西区・西浜区）			投票率合計
	当日有権者数	投票者数	投票率	当日有権者数	投票者数	投票率	当日有権者数	投票者数	投票率	
18歳～39歳	1,019人	435人	42.69%	648人	308人	47.53%	1,193人	511人	42.83%	43.85%
40歳～69歳	1,630人	1,029人	63.13%	1,160人	738人	63.62%	1,963人	1,191人	60.67%	62.23%
70歳以上	921人	577人	62.65%	604人	420人	69.54%	940人	647人	68.83%	66.69%
合計	3,570人	2,041人	57.17%	2,412人	1,466人	60.78%	4,096人	2,349人	57.35%	58.11%



仲村 兼栄

詳しくは動画を Check →



子ども議会の開催を

問 令和3年2月定例会で一般質問を行ったが納得できず、子ども議会開催の実績のある沖縄市、糸満市、恩納村の調査研究と、教職員・指導主事においても意見交換を行った。

また、電話で秋田県教育委員会大館市教育委員会においても意見交換を行った。

そこで、恩納村、糸満市の子ども議会開催の実施要項及び開催に向けての趣旨等の把握は。

教育指導主幹 両市村に依頼して資料等を提供していただいたので実施要項、趣旨は把握している。

問 糸満市は市制施行五十周年事業として「子ども議会」を実施した。本町も令和8年1月開催予定の町制施行五十周年事業として「子ども議会」開催ができる。

ないか。

教育指導主幹 児童生徒が町政へ興味・関心を示すとともに「まちづくり」について考える機会となると考える。学校・町長・議会と各課との連携が必要となり、これから計画を策定し、関係機関を含めて検討する。

带状疱疹予防

ワクチン助成金を

問 令和3年6月に町民より带状疱疹に関する資料をいただき調査研究を行い、町長、担当課長へ資料提供を行ったが、当時は国の定期接種ではなく任意接種だった。国は4月1日から定期接種をスタートさせている。本町の取り組みは。

町民保険課長 令和7年4月から接種開始に向けて準備をしている。具体的な取り組みとして厚労省が示した対象者に対し、町より予診票・説明書・接種を実施する医療機関の一覧等を郵送する予定。

問 助成金の予定は。

町民保険課長 町民への助成金額として、接種費用の半額を考えている。

- ① 生ワクチン自己負担4千円
- ② 組み換えワクチン 自己負担1万1千円の2回分



上下水道の状況は

問 過去5年間で町道の道路陥没事故(小規模も含む)の件数は。

上下水道課長 ①令和2年3件、②令和3年4件、③令和4年2件、④令和5年2件の合計11件。小規模な公共施設の陥没事故のため人身事故・物損事故は発生無し。

問 事故が起きた場合の連絡体制は。

上下水道課長 道路管理者の都市建設課から下水道係へ指示、現場確認を行い、安全管理の後に町内業者へ連絡し、現場対応を行う。

問 各区下水道の未接続世帯は。

上下水道課長 ①東区19件、②中央区16件、③北区18件、④南区

20件、⑤西区38件、⑥西浜区44件。

問 ①下水道管全体の老朽管の割合は。②水道管全体の老朽管の割合は。

上下水道課長 下水道管の法定耐用年数が経過した管の延長は11・06kmで管渠老朽化率は23・51%。水道管の全長54・39kmに対し法定耐用年数を経過した管の延長は1・47kmで全体の2・7%。

納骨堂・位牌壇安置所の複合施設を

問 第2次嘉手納町墓地整備基本計画策定業務(基礎調査)で納骨堂の位置づけは。

産業環境課長 検討する。

問 市町村が運営する位牌壇の預かり事業の把握は。

産業環境課長 リスクも考慮し、慎重に検討する必要がある。

問 納骨堂・位牌壇安置所の複合施設の予定は。

産業環境課長 次年度策定する第1次計画の中でどのような施設が必要か検討するので、具体的な設置については現段階ではない。



新垣 貴人

詳しくは動画を Check →



公共交通網整備について



読谷村民の足として走る鳳バス

子ども達や町民の方々、高齢者や足腰の弱った人々、また障害を持つ方々の交通手段として、公共交通車両の導入は町民から高い関心がある。交通弱者や交通空白地帯の方々への公共交通対策を伺う。

問 コミュニティバスの導入に対する検討の進捗状況は。
企画財政課長 基礎調査を行い計画策定する。

問 町所有のバスで週1回の実証実験を実施し、検討材料に活用してはどうか。
企画財政課長 計画策定後、活用

の検討を行う。

議会と住民との懇談会について

嘉手納町議会基本条例に基づき、議会と6行政区の町民との懇談会を実施した。その際に町民から寄せられた意見、要望、提案について伺う。

問 那覇向けの兼久海浜公園前バス停に日よけの屋根の設置を。
都市建設課長 設置に向けて要望書を提出する。

問 西区には、公衆トイレが不在だ。公衆トイレの建設を。
都市建設課長 これからのまちづくり

に検討は必要だ。

問 物価上昇による経済的支援のため、40%のプレミアムを付与した野國總管商品券の発行を。
産業環境課長 社会情勢を注視し、考えたい。

出産と育児に対する事業について

本町において産後ケア事業が実施され5年が経過する。出産後1年以内に母子の心身の状態に応じた保健指導や相談を行う事で、心身のバランスを崩しやすい産後初期に適切なサポートを受けながら休養を取り、心を休め産後鬱の抑止や早期発見が目的とされている。また、令和4年度から家事または育児の支援を必要とする妊産婦へ出産育児に対する事業に注力しているが現状と課題を伺う。

問 産後ケア事業の現状と課題は。事業の充実を図るため、利用条件の緩和と拡充を。
子ども家庭課長 令和5年度は、

14名。6年度は1月末で20名の利用。事業所が限られ、予約の調整が課題。今後、利用要件を緩和し支援できるよう整備していく。

問 妊産婦ヘルプサービスの現状と課題は。妊産婦ヘルプサービスの充実を図るため、利用条件の緩和と拡充を。
子ども家庭課長 令和4年度が8

名。5年度が16名。6年度が1

月末で18名の利用。利用者の増加で委託先の確保が課題。現状を継続し、状況把握を行い取組む。

問 今後、出産と育児に関する事業について検討している取り組みは。
子ども家庭課長 母子手帳アプリ

導入事業や不妊治療費助成事業に取組んでいく。

国民健康保険の運営について

日本の社会保障制度としての国民皆保険制度は世界に誇れる制度だ。マイナンバーカードの導入で情報の一元化が実施された。今後の展開について伺う。

問 国民健康保険証の発行はどのように実施されるのか。
町民保険課長 資格確認証への切り替えとなる。

問 高額療養費の還付請求に際し、簡素化はできないのか。
町民保険課長 要項を整え、領収書の提示は無くても申請を可能にする。



髙原 妙子

詳しくは動画を Check →



「道の駅かでな」について

問 令和4年4月のリニューアルオープンを経て、県内外からも多くの方々が訪れ賑わいを見せている「道の駅かでな」。テナント店以外にキッチンカーもあるが、キッチンカーを置いたためのテナント店の売り上げの伸び悩み等の問題はないか。またテナント会からの要望はないか。

産業環境課長 キッチンカーに関するテナント会からの相談や要望については、台数を減らしてほしいなどの要望が出ている。その対応として、役員、三役を交えた協議の場の設置、メインメニューのバリエーションは避ける、キッチンカーの配置を変えるなどの対応を行っている。

問 テナント会からの要望を一つ一つチェックし、協議をしてほ

しい。町の見解を伺う。

町長 テナント店の設置が道の駅の賑わいづくり、発展、活性化にもつながっている。そのためには各テナントもぜひ売上げを伸ばし、儲かっていたただかなければならないと思っている。

道の駅のキッチンカーについては、町としてもその対応の必要性を感じている。

テナント会から出されている問題の改善方法などの主なものについて確認をして、その上で現状の問題の改善に向けてどのような対策が取れるのか、指定管理者とともに検討をしていきたい。

高齢者外出支援について

問 一般の交通機関を利用する高齢者に対して、町はタクシーチケット助成事業や乗り降りすることが困難な方へは外出支援事業（介護タクシー）を利用することができる。

町内には民間の介護タクシー事業者があり、町外へも行けるので利用する高齢者も多い。この民間の介護タクシー料金にタクシーチケットを使いたいとい

う方々の声がある。

福祉課長 高齢者外出支援事業の介護タクシーは9割を助成している。それにプラスして、タクシーチケットということは二重の助成と捉えている。通常のタクシーが利用できない方が利用される制度であるため、車椅子の方であれば高齢者外出支援事業に該当する。

町道の安全対策について

問 町道48号線と水釜大木線の交差点での信号待ちについて町民からの苦情が多い。朝と夕方は特にひどく、注意喚起のカラーアスファルトを無視するドライバーへ町民から怒りの御相談を数件受けている。

都市建設課長 カラーアスファルト内に停車する車両が依然として発生しているということに注意喚起だけでは対応が難しい部分があると感じている。また朝と夕方は特にひどいということで、根本的な問題として渋滞に起因していると考えている。

現在、警察とも協議を行い、渋滞を緩和できるような線形や信号機の位置等、道路改良に向

け検討を進めていきたいと考えている。

問 旧中央公民館から「あしびな広場」までの町道72号線は自転車及び歩行者専用道路に指定され、朝の時間帯の交通規制があるが、屋良小学校へ向かう児童はそこを通らず、下の町道18号線から登校する児童が多い。

町道18号線は道幅が狭く、登校する児童は大変危険である。町道72号線の朝の時間帯の交通規制の変更はできないか。

都市建設課長 本町道路管理者として、変更の手続きはできないが、関係者と連携を取り、所定の手続についての協力は考えている。

具体的には地域周辺の方々、学校、教育委員会及び道路管理者の意見を要望書として取りまとめ、要望書を嘉手納署長宛てに提出することになる。





田崎 博美

詳しくは動画を Check →



産前・産後サポート事業

問 ママサポート事業には、妊娠中から出産後にかけての母親をサポートする産前・産後サポート事業や、出産後の母子をサポートする産後ケア事業がある。さらなる施策の必要性は。

町内に助産施設はあるか。また、産婦人科はあるか。

子ども家庭課長 町内に助産施設はないが、助産院の登録は一所ある。また、産婦人科の施設も町内にはない。

問 令和6年度中における切迫早産があったのであれば、何件あったか。

子ども家庭課長 切迫早産の件数は把握できていないが、37週未満の早産については2月末時点で2件となっている。

問 妊産婦のアクセス支援の一つとして救急等による緊急時の搬

送支援事業の確立ができないか。

子ども家庭課長 現在、本町では妊娠30週頃に妊婦さんとの面談を行い、状況把握や情報提供を行うとともに、出産時の医療機関受診の方法について、事前に家族等と調整するよう指導している。しかしながら、妊娠、出産には想定外のことも起こり得るため、その場合は消防署への救急要請になると考えている。他県の実況として、事前に登録を行い、緊急時に妊婦さんを医療機関へ搬送する事業があるということは承知しているが、当町の実状にその事業内容が合致した内容であるかなど今後、調査研究していきたいと考える。

嘉手納町住宅用火災警報器の設置助成について

問 住宅火災による死者の発生を防ぐことを目的に消防法等にお

いて平成23年6月から、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられている。

住宅火災で死亡



する人の6割が高齢者であることから、本町では「嘉手納町緊急経済対策事業」の取り組みとして、条件を満たした世帯に住宅用火災警報器を無料で設置している。設置義務世帯数は何戸か、設置率を伺う。

福祉課長 国勢調査の令和2年10月1日現在において、住宅用火災警報器の設置義務世帯数は5044世帯となっている。なお、本町の設置率は58.7%となっている。住宅火災件数や住宅火災による死者数の減少が起きているということ、また、機器を設置していない場合に比べて、死者の半減、損傷50%、損害額は40%減少していると言われている。火災の被害を少なくすることには大きく貢献しているが、100%に近づける対策を講じないといけない。

問 機器の交換や点検の促進を定期的にを行うことが必要と思う。具体的な対策について伺う。

福祉課長 機器は約10年持つ。電池が切れそうになった場合には合図があるので点検は可能だと考える。設置支援については社会福祉協議会や各区自治会において、交換や新規購入を促進し

ている。

問 令和4年度、5年度、6年度の無料設置対象者数は。

福祉課長 嘉手納町緊急経済対策事業は、平成23年度に限られた事業である。対象世帯数969世帯、実際に設置された世帯数は447世帯、46%の設置率。社会福祉協議会で実施した。

問 火災発生件数は、過去10年間の状況は。

福祉課長 ニライ消防本部に確認したところ、平成27年1月から令和7年3月9日までの本町の建物火災件数は21件。

問 歩行困難などの身体的に障害がある方の逃げ遅れを防ぐために火災警報器に対する補助制度を設けるべきだと考えるが。

福祉課長 火災警報器の補助制度については、嘉手納町高齢者日常生活用具給付事業として、65歳以上の一人暮らし世帯や、65歳以上の世帯で生活保護世帯、または住民税非課税世帯に対して火災警報器や自動消火器を給付する事業の整備がされている。

電池式報知器





当山 均

詳しくは動画を Check →



保育所・学童クラブにおける
完全なる「待機児童ゼロ」に
向けて

問 保育所における「待機児童ゼロ」体制づくりを。

年度途中でも入園できる完全なる「待機児童ゼロ」体制づくりを求める。

子ども家庭課長 年度途中の待機児童対策として、定員枠を増やすべきか、または他の保育サービスによって可能な限り対応できるように体制を拡充するかを検討していきたい。

問 公立・民間学童クラブの利用料、給食費など実費徴収額を問う。

子ども家庭課長 公立学童は利用料「月額1万円」で、その他の実費徴収は行っていない。民間については次表のとおり。

町内各学童クラブ保育料、給食費、その他保護者実費等一覧表 (R7.1月末日現在)

種別	クラブ名	定員	給食	おやつ	月額利用料	その他実費徴収		
						入学金	食事等(休日等)	その他
公立	たいよう学童	60	自園調理	自園調理	10,000円	無	無	無
公立	屋良学童クラブ	20	たいよう学童で調理したものを運搬	たいよう学童で調理したものを運搬	10,000円	無	無	無
民間	学童クラブ[A]	28	自園調理	自園調理	10,000円	無	350円/食×利用日数	無
民間	学童クラブ[B]	30	弁当+自園調理	お菓子等	10,000円	2,000円	R6:無し R7~:300円/食×利用日数	無
民間	学童クラブ[C]	40	自園調理(冷凍食品、レトルト)	お菓子等	10,000円	無	無	無
民間	学童クラブ[D]	40	弁 当	コープのお菓子、週2回パン	8,000円 【内訳】保育料6,500円、おやつ代1,500円	無	弁当代:小400円、大450円/食×利用日数	8月のみ保育料加算2,000円

問 給食費の無償化等により利用料の統一化を。

公立・民間問わず、どの学童に預けても利用料、給食費など保護者負担額は一律が望ましい。給食費の無償化等により、公立・民間学童の利用料統一化を提案。

は独自の運営方針があり、提供するサービス内容も異なるため、一律に助成を行うことは難しい。多角的なアプローチを通じて、保護者の経済的負担を軽減する方策を調査研究していきたい。

屋良東部地区公園 整備計画に関し

先日、屋良第二公園（パンダ公園）を屋良ローソン裏の国有財産（防衛省所管）に移設する「屋良東部地区公園」整備計画の住民説明会が開催された。

パンダ公園の存続を求める住民に対する説明が、今後の住民等との意見交換によつては公園存続も余地を残すと誤解を与え兼ねない表現だったのではと懸念を抱き、次の質問を行う。

問 当整備計画のそもそもの目的を問う。

企画財政課長 住宅施設等整備に向け、この屋良第二公園用地を住宅用地に。そして、防衛省買上げ用地に新たな公園を整備することを考えている。

問 駐車場の配置予定場所を見直せ。

国有財産に住宅が隣接する住

民から、夜間の自動車・オートバイの騒音被害を懸念し、駐車場は住宅から離れた場所に移動するよう強い要望があった。

企画財政課長 駐車場区域は道路側からのアクセス面や公園用地の有効活用の観点から配置案として示した。

次年度、基本設計の中で駐車場配置整備、配置場所に関しても、地域の方々や近隣住民とお話をさせて頂きたい。

適切な公金の運用について問う

問 一般会計における基金の有価証券の運用状況は。

会計管理者 本日3月26日現在、約32億7785万円の運用を行っており、内訳は財政調整基金26億5875万円、地域福祉基金1億7823万円、人材育成基金1億9268万円、県立農林学校同窓会人材育成基金4817万円。国債等を購入し得られる年間の運用利息は2950万円となっている。

5年・10年・20年国債とも今後、徐々に上がっていく見通しである。



宇榮原 京一

詳しくは動画を Check →



児童生徒の 不登校問題を問う

問 不登校児童生徒数は。

教育指導課主幹 令和7年2月末現在で小学校が49名、中学校が23名。

問 不登校が増える原因や背景は。

教育指導課主幹 生活リズムの乱れ、無気力、不安、遊び、非行など。家庭の問題、学校や家庭との関係で保護者が無理に行かせなくてもいいという考え方。

問 不登校の保護者との面談、またはアンケート等は。

教育指導課主幹 保護者へのアンケートは実施していない。

問 不登校に対する取組は。

教育指導課主幹 学校復帰に向かうように校内自立支援室や青少年センターの適応指導教室などの設置。

問 不登校の家庭での行動は。

教育指導課主幹 スクールソーシャルワーカー、生徒指導支援員が家庭訪問などを行うが、居留守、寝て出てこない、保護者が面会を拒否するケースもある。

問 フリースクール等への支援と助成は。

教育指導課主幹 フリースクールに通う小学校15名、中学校が5名。支援や助成は、現在のところ行っていない。今後、助成に向けて整備を進めたい。



不登校児童生徒数は年々増加傾向にあり、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」が急務である

水道行政を問う

問 令和6年5月から、消費税10%が外税として加算されたが経営状況は。

上下水道課長 令和6年度決算見込み1400万円の増になる見込み。一方、嘉手納基地からの給水収益である施設提供対価料の使用水料及び収益が減少しておりそれに伴い令和6年度も赤字決算になる見込み。

問 使用料金の滞納状況は。

上下水道課長 6人、件数が24件、滞納額が6万5125円。

問 漏水調査と現水道管の耐久性は。

上下水道課長 年間2〜3か所の小規模な漏水を発見し修繕をしている。管の法定耐用年数は40年。多くの水道管は平成初期に敷設され、更新を必要とする水道管が増えてくることから計画的に工事をする必要がある。

問 「水道事業経営戦略」から今後の経営改善は。

上下水道課長 今後も赤字が続く見込み。理由として収益では施設提供対価料の収益の減少、支出では県企業局の受水費の値上げにより利益がマイナスになっている。県企業局の最終値上げの令和8年度に合わせて、嘉手納町水道事業でも料金改定を行わなければならない状況にある。

北区コミュニティセンター の更なる利便性向上を

問 多目的に使用されている中庭広場の整備を。(人工芝化)

総務課長 自治会から要望がない。どのような理由で、利用者の有無はどうかなど、要望を伺った上で検討したい。

問 音響機器設備や舞台照明器具の導入を。

総務課長 要望を伺った上で検討したい。

問 区民の時間外(休日等)施設使用に伴い、非常勤職員の休日施設利用人件費の増額を。

総務課長 人件費については、今年度より休日等の施設利用を促進のため、指定管理料に追加したものでこれまでの実施状況等を確認の上、人件費を含めてその対応を検討したい。



整備が必要な北区コミュニティセンターの中庭

正副常任委員長 研修会

令和7年5月13日、県町村議会議長会主催の「町村議会常任委員会正副委員長実務研修会」が那覇市内で開催され、議員4名と事務局職員が参加した。



県議長会元事務局長石垣安秀氏を講師に招き、議会及び委員会運営における具体的な実務的な事例を参考に、留意事項等を学んだ。

主な議長公務日程

2月 1日 町産業まつり
13日 三連協目視調査
16日 おきなわマラソン
3月 22日 アメリカフェスト2025
4月 3日 嘉手納野球場落成式
9日 嘉手納小学校、屋良小学校、嘉手納中学校入学式
10日 嘉手納外語塾入学式
18日 中部地区議長会定例総会
30日 沖縄振興拡大会議

その外7件

議会

情報をチェック

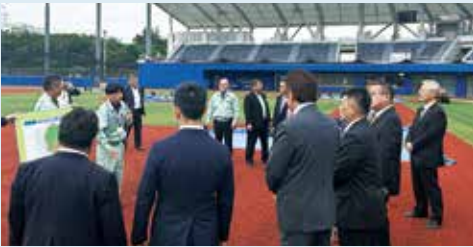
議会ネット中継
配信開始!



嘉手納町議会ホームページでは、定例会・臨時会の会期日程や一般質問通告書、意見書・決議等を掲載し、情報を発信しています。
また、インターネット中継を行っております。ホームページやスマートフォンからでもご覧いただけます。

町内主要施設の 視察を実施!

3月定例会初日に、完成間近の嘉手納野球場建設工事の進捗状況を議員全員で現場を視察しながら説明を受けた。



嘉手納野球場の落成式は4月3日に行われ、5月1日より供用開始となった。
生まれ変わった新野球場は、センター122m、両翼100mで、県内では珍しい全面人工芝を採用している。今後はスポーツ振興の拠点となる。

題字紹介

議会だより



嘉手納小学校6年
みおり
比嘉 美音莉さん

今回「議会だより」を書いて思ったことは「思ってたより全部難しい」と思いました。とくに「議」で「言」と「義」がずれないように合わせるのがとても難しかったです。でも、やっていくうちに慣れてきて、最初よりはキレイに書けて、開放感がありました。自分が書くことになると思わなくて、ビックリしたけど、やって良かったと思います。

職人・人物 紹介

山口 栄秀さん
左からあおいさん、こうきさん、まつりさん、そうまさん



りきるそうです。今では1頭から1日4頭取れるようになりました。そして、チーズ職人のパメラさんが作ったチーズは、2022年ロンドンで開催されたチーズ大会で金賞も獲得しました。
広大な敷地には闘牛もあり、栄秀さんの孫たちが山羊や牛も、飼育のお手伝いをしております。また、嘉手納から横綱牛を出す夢も叶ったと笑顔で語っていました。

約40年前から趣味で飼っていた山羊と牛。琉球大学教授の講演で山羊のミルクは身体に良いと聞き、独力で餌の配合に苦戦しながら10年をかけて、癖のない山羊ミルクが出来上がりました。毎日手絞りで、手の感覚で絞

